JEFF ROWLAND
DESIGN GROUP

Corus

取扱説明書

株式会社太陽インターナショナル

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

Tel : 03-6225-2777　Fax : 03-6225-2778

<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

はじめに. 2
本機の特徴. 3
ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）. 5
パッケージの中身. 6
パッケージの開梱. 6
メンテナンス、お手入れ、保護システムについて. 7
＜保護＞ 7
設置について. 8
設置に関しての注意事項 8
設置方法 9
フロントパネルコントロール. 10
リアパネルの接続. 11
ご使用方法. 12
フロントパネルの操作 12
リモートコントロールの操作. 14
メニュー機能. 16
メニューリスト 17
メニュー項目の説明 18
故障かな？と思ったら 21
アフターサービスについて. 22
仕様. 23
問い合わせ先. 24

はじめに

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループのオーナーとなられましたことを、心よりお喜び申し上げます。お買い上げいただいたコーラスは、世界で非常に優れたオーディオアンプであると確信しています。コーラスの綿密に設計された内部と精密に作り出されたシャーシー、製造技術の確かさは、リスナーに大きな満足と喜びを提供し続けることでしょう。

コーラスの設計理念を理解していただきその最高の性能をフルに引き出すためにも、是非このオーナーズマニュアルをお読みくださるようお願い申し上げます。

お買い上げのコーラスのシリアルナンバーは、C およびPD の文字から始まります。このナンバーは保証書及び本体のリアパネルに記載してあります。コーラスに関するお問い合わせの際には、必ずこのシリアルナンバーをお知らせください。

音やアーティストの表現を再現する際の高邁な理想を実現できるようなアンプをデザインすることは、私にとって純粋な喜びです。この喜びがオーナーの方々の音楽体験をより豊かにできれば幸いです。

Enjoy the music!

ジェフ・ロゥランド
ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ　プレジデント

本機の特徴

● 切削加工のハードアルミシャシー

回路は超低振動シャシー内部に収納されています。コーラスには、非常に剛性が高い航空機グレードの 6061-T6 アルミ（ジュラルミン）塊から精密に削り出し加工された一体型のシャシーを採用しています。完全にシールドされたシャシーによって、ジェフ・ロゥランドが追求するノイズ対策に最大の効果が発揮されています。

● 機能的な隔離

パワーサプライはプリアンプ本体と同様のアルミ切削加工低共振別筐体シャシーに格納されています。鋭敏なオーディオ回路はパワーサプライから隔離され、シャシー内部で切削加工された小部屋に左右チャンネル回路を別個に収納。その結果、RF,EMI からは完全にシールドされ、本当の意味でのデュアルモノ構造となっています。

● 内部信号汚染の廃絶

コマンドが実行された後にはコントロールサブシステムは完全にオフラインにすることにより、音質純粋性を最大限に守ることができました。ラッチタイプ信号リレーを採用することで、リレーに電流が流れるのは数ミリ秒というきわめて僅かな時間です。リレー作動が完了すればすぐに電流が流れない「オフ」の状態に戻ります。

● パワーサプライ

パワーサプライはハイスピード動作、ローノイズスイッチモードパワーサプライで、エアロスペース用のデバイスです。パッシブパワーファクターコレクターとの相乗作用によって、実質的には多くのパワーコードの違いなど生じさせないほどに優れた音質を提供できました。また、パワーサプライによって極めて純粋で音楽的なパフォーマンスが得られました。

● セラミック基板

オーディオ回路は MIL 規格、マルチレイヤー（複層）、低絶縁係数、エネルギーの保持、吸収が殆ど無い優れた特質を持つロジャースセラミック基板を採用。内部スターグラウンディングのために大規模な低インピーダンスグラウンド面を採用いたしました。伝統的な電解タイプに取って代わった新開発のセラミックコンデンサーの採用によって、回路をパワーサプライノイズから完全に隔離できました。

● 最短距離信号経路

超低ノイズのディファレンシャルバランスオーディオアンプによるゲインステージはジェフロゥランドプリアンプ史上最小のシグナル経路となりました。最大のノイズキャンセル効果を意図して、全ての信号経路は入力から出力まで完全なバランス回路となっています。

● デュアルゾーンプリアンプ

レコード出力のための別個第 2 ゲインステージは第 1 回路と全く同じ回路構成で、ボリウムコントロールは独立性を保っております。

● 入出力トランス

全ての入出力ルートはプロフェッショナルグレードのトランスを使用することによって、コモンノイズ拒絶、EMI に対する免疫性を最大に高め，ご使用になるコンポーネントとの互換性を効果的に行えます。トランスは全てのバランスインプット、アウトプットについて精度の高い一定したゲインを保証します。ジェフロゥランド製インプットトランスを装備したパワーアンプと使用した場合、140dB というダイナミックレンジを期待できます。アンバランス入力経由の信号はプリアンプ内に入るや、バランスに変換されます。

● 柔軟性

6 つの入力端子、4 つのメイン出力 (XLR × 2、RCA ×2)、2 つのレコード出力 (XLR × 1、RCA ×1) がチャンネルごとに用意されています。

● 入力ゲインオフセット

各メイン入力に対して個別にゲインオフセットを -20dB~20dB まで 0.5dB ステップでプログラムできます。

● 出力オフセット

高解像度ゲインオフセットをメインアンバランス出力 2(OUTPUT B とリアパネルに表示) で 0.5dB ステップでメイン出力 1(OUTPUT A とリアパネルに表示) に対して相対的に調整できます。

● 一定ゲイン入力

各メイン入力はユニティーゲインバイパスでも使用できます。これはホームシアタープロセッサーを対象にした仕様です。

● 位相反転

左右チャンネルとも個別に位相反転が行えます。最適システムのセットアップに対し便利です。

● チャンネルバランス

高解像度のイメージシフトが 1.0dB 単位で行えます。最大 +/-20dB の範囲で調整可能です .

● ディスプレィ

最新の 32×320 ピクセルの蛍光真空ディスプレィは解像力が高く、プリアンプの状態をたやすく読み取れます。

● リモートコントロール

人間工学に基づく新設計トランスミッターをアルミビレットより削り出しで制作しました。システムのコントロールがたやすく行えます。

ご使用になる前に（安全にお使いいただくために）

本機をご使用になる際には、安全上のご注意をよくお確かめ下さい。
以下の注意事項は安全にお使いいただくために大切な内容です。必ず守るようにして下さい。

⚠ 警告：誤って取り扱うと、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。
⚠ 注意：誤って取り扱うと、傷害又は物的損害などの発生に結びつく可能性があります。

［設置上のご注意］

⚠ 警告

- 定格電圧ＡＣ 100V にてご使用下さい。
- 付属の AC 電源ケーブルは、本機専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。
- ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
- AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
- 本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。
- 水など塗れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
- 本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐに AC 電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことを確認してからお買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

⚠ 注意

- 本機を設置する際にはこの取扱説明書に従って確実に行うようにして下さい。
- 本機の取り出し、及び設置する際には細心の注意をし、慎重に行うようにして下さい。落下等でケガや物損を招く原因になります。
- 湿度の多い場所で使用しないで下さい。結露等により故障の原因となります。
- ゴミやホコリの多い場所では使用しないで下さい。
- 室内温度が５℃～４０℃の範囲でご使用下さい。
- 振動が多く、水平でない場所には設置しないで下さい。機器の落下等でケガや物損を招く原因になります。
- オーディオラック等に納めてご使用になる場合、通風をしっかり取るなど熱のこもりには充分注意して下さい。故障の原因になる場合があります。
- ＡＣ電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
- 電源投入時や切る際には 2 本の DC ケーブルがしっかり接続されているか確認してから行ってください。またご使用中には DC ケーブルは絶対に抜かないでください。

［お手入れについて］

- 本体の汚れは、柔らかい乾いた布（シリコンクロス等）で軽く拭き取ってください。ベンジンやシンナーなど揮発性の薬品のご使用は、絶対におやめください。本体の表面が変質する恐れがあります。

⚠ 注意

- リアパネルの端子等のお手入れの際には、必ずＡＣ電源ケーブルを抜き電源をお切り下さい。感電の原因となることがあります。

パッケージの中身

本機のパッケージには下記のものが含まれています。

- コーラス　本体
- 電源部
- DC ケーブル（2 本）
- リモートコントロール
- リモート受光部
- 受光部接続ケーブル
- ＡＣ電源ケーブル
- ３P アダプタ
- 保証登録書
- 取扱説明書

注意：付属の AC 電源ケーブル、DC ケーブルは、コーラス専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

パッケージの開梱

本機は重量があります。本機の取出し、及び設置の際には細心の注意で慎重に行なって下さい。落下等で怪我や物損を招く原因となります。開梱は柔らかい表面のカーペット等を敷いた上で行なってください。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品は米国ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

メンテナンス、お手入れ、保護システムについて

ジェフ・ロゥランド・デザイン・グループの製品は、長年に渡りその音楽的性能をお楽しみいただけるように設計されております。内部に埃が入らないようにシャシーは密封構造となっており、シャシー内部をクリーニングする必要はありません。内部の回路は調整やメンテナンスの必要がないように、自動調整できるようになっています。修理等の際には、お買い求めの販売店か当社サービス課までお知らせ下さい。

コーラスのシャシーは航空機グレードのハード・アルミニウムによるくり抜き加工という、コストを無視した革新的な構造になっています。フロントパネルはダイヤモンド・カッティングツールで削り出されています。このユニークな工程は、美しく魅力的な製品をお届けするために、長年の研究、試行によって完成されたものです。

表面は通常のオーディオやビデオの表面とは異なっていますので、お手入れの際は以下の点にご注意下さい。

- 最初の６ヶ月間はフロントパネルのクリーニングは行わないで下さい。この間に表面のコーティングが定着し、表面の傷を防ぎます。
- トップカバー、サイドカバー、ボタンカバーは、水で湿らせた柔らかい綿布で拭きます。水はシャシーには直接つけず、布につけます。シャシーに跡が残った場合、研磨剤や化学物質によるクリーナーは使わないで下さい。クリーナーが必要な場合は、アンモニアを含まないプラスチック・クリーナーまたはガラス・クリーナーをご使用ください。
- フロントパネルのお手入れには、水またはオイルベースの家具用クリーナーを使用します。必ず柔らかい綿の布につけてから拭いてください。フロントパネルは非常に繊細な仕上がりですので、他のもので拭いた場合、目立つ傷がつく可能性があります。

＜保護＞

雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するため、アンプのAC電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様にAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
また長期間使用しないときにもAC電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。

設置について

設置に関しての注意事項

アンプの設置場所は、できるだけリアパネルの操作が可能な場所に置いてください。

本機はアンプの最も効率的なオペレーション、あらゆる環境下での最高のパフォーマンスが可能なように、広範囲にわたる保護回路を有しています。しかしアンプを正常動作させるため、以下の基本事項に着目しておいてください。

・定格電圧 AC100V にてご使用下さい。
・湿度の多い場所では使用しないで下さい。
・ケーブル等の接続はこの取扱説明書に従って確実に行って下さい。不完全な場合には接触不良を招き、火災の原因になりかねません。
・AC 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いて下さい。コードを無理に引っ張ったりして抜くと断線又は接触不良を招き、感電や火災の原因になります。
・AC 電源ケーブルを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねっじったり、継ぎ足す等の加工は行わないで下さい。火災や感電の原因になります。
・本機の改造や部品の変更は絶対しないようにして下さい。火災や感電、故障、ケガの原因になります。(改造されたものは、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください)
・水などで濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないで下さい。感電の原因になります。
・本機内部に水をこぼしたり、ピン等の金属類を入れないで下さい。感電や火災の原因となります。
・万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常状態が起きた場合は、すぐにＡＣ電源ケーブルを抜き、異常状態がおさまったことをご確認の上、お買い求めの販売店、又は当社サービス課まで修理を依頼して下さい。そのままの状態でご使用になると、火災・感電の原因になります。
・使用の際は、正しくグラウンドされた AC 電源を使用してください。３ワイヤのグラウンドされた AC ケーブルターミナルが正しくセットされていなかったり、誤って２ワイヤのグラウンドされていない AC コードが使用されている場合、故障の原因になりかねません。
・雷の発生が予想される場合や雷が発生している場合には誘導雷等に対して内部の回路のダメージを回避するためアンプの AC 電源ケーブルは抜いておいてください。他のオーディオ、ビデオ等の機器も同様に AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。また長期間使用しないときにも AC 電源ケーブルを抜いておくことをお勧めします。
・ＡＣ電源に、クリーン電源・安定化電源等の装置はご使用にならないで下さい。故障の原因となる恐れがあります。
・電源投入時や切る際には 2 本の DC ケーブルがしっかり接続されているか確認してから行ってください。またご使用中には DC ケーブルは絶対に抜かないでください。

設置方法

1 プリアンプは水平の棚、ラックなどに置きます。パワーサプライはプリアンプから DC ケーブルの長さの範囲内、(2M) に設置します。

2 プリアンプ側の DC 入力に DC ケーブルの端子を着装します。DC ケーブルの装着には，ゆっくりとプラグの周りを回しながらカチンとロックする点を捜します。

3 パワーサプライ側の DC 出力に DC ケーブル端子を着装します。この時は、AC 電源は絶対に入れないで行ってください。

4. パワーサプライとプリアンプが DC ケーブルで接続された後に AC 電源を AC ケーブルで接続します。念のため、電源のメインスイッチは切った状態にしておいてください。

【注意：電源を入れてからパワーサプライとプリアンプを接続しようとすると、端子からショートされてプリアンプ・パワーサプライ内部のフューズを飛ばします。フューズ交換は基板の半田付けが必要ですので、必ず輸入代理店への返送いただくことになります。接続順序は厳守お願いします。】

5 プリアンプ側の準備が整った状態でフロントエンド機器とプリアンプとの接続を行います。デフォルト状態では位相は正相ですので、2 番ホットの送り出し機では 2 番ホットの出力、3 番ほっとの送り出し機は 3 番ホット出力となります。RCA 入力 -BAL 出力の場合には、RCA ホットピンは XLR(バランス)2 番ホット出力となります。

6 全て入力接続が完了しましたらパワーアンプとプリアンプを接続します。バランス接続をおすすめしますが、アンバランスでも出力レベルは変わりません。
送り出し機とパワーアンプの位相極性を合わせることが重要ですが、もし送り出し機 3 番ホット、パワーアンプ 2 番ホットの場合にはその入力番号の位相をメニューから選択して変更します。まだ電源が入っていませんから、後に行います。

7 パワーサプライの電源スイッチを入れます。この状態で位相を変更することができます。

8 パワーアンプのスイッチを入れれば演奏可能となります。

⚠ 注意

付属されている DC ケーブル以外は絶対に使用しないでください。アンプの故障の原因となります。他のケーブルを使用した場合は保証の対象外となります。

フロントパネルコントロール

① INPUT SELECTOR 1-6（入力セレクターボタン 1-6）
入力ボタン 1-6 まで指定した入力をボタンによって選択します。

② RECORD（録音プッシュボタン）
録音選択モード (RECORD SELECT) に入ります。
フロントパネルの録音ボタンを押し、希望する録音ボタンを押すことによって録音入力番号を選択します。メニューから録音選択 (RECORD SELECT) を呼び出すことによっても選択できます。この録音選択モードはメイン入力番号が選択されるまで録音選択のままです。

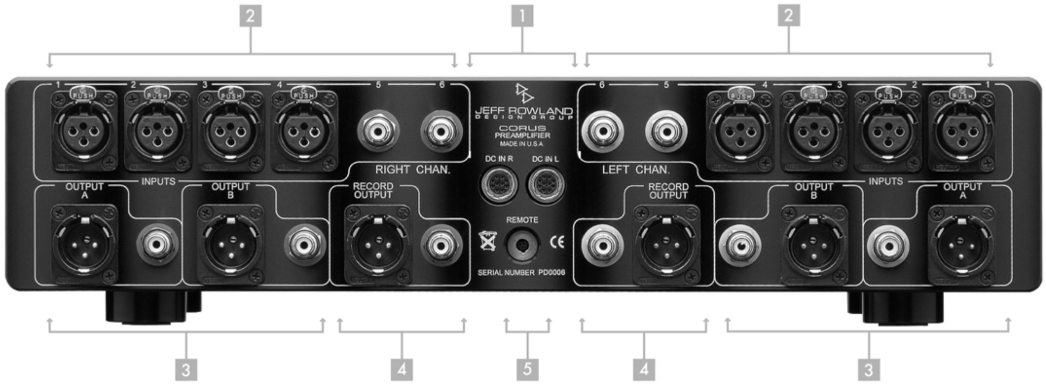
③ MENU（メニューボタン）
メニューモードに入ります。メニューオプションを選択、そしてメニューモードから抜け出すためにも使用します。以下のメニュー機能をご参照ください。

④ DISPLAY（ディスプレィプッシュボタン）
スタンドバイと通常の動作を切り替えます。メイン入力ボリウム (フロントパネルのノブを回す、又はリモートコントロールの Vol +/- ボタンを押す) を調整することでもスタンドバイから解除されます。スタンドバイは消費電力を減らし、ディスプレィを消します。

⑤ MUTE（ミュートプッシュボタン）
ミュート無し、-20Db ミュート、フルミュート (完全消音) を循環します。ミュートボタンを 10 秒ほど押し続けると強制リセットとなります。

⑥ VOLUME（ボリウム・コントロールノブ）
時計方向に回転させると出力レベルを大きくします。コーラスのボリウムノブは早く回すとボリウム (数字) が大きく変更し､ゆっくり回すと少量のボリウム変化となります。
メニューモードの場合にはメニュー、サブメニューをスクロールします。

リアパネルの接続



① DC IN L/R（DC ケーブル出力端子 L/R）

付属の DC ケーブルでパワーサプライの DC OUT 端子と L/R 各チャンネルに接続します。

DC ケーブルの接続時や取り外す際は、必ずパワーサプライの電源をオフにして AC ケーブルを外してから行ってください。電源を入れたままケーブルを接続又は外すと、ショートさせる原因となりプリアンプ内部を破損する恐れがあります。

電源投入時や切る際には 2 本の DC ケーブルがしっかり接続されているか確認してから行ってください。またご使用中には DC ケーブルは絶対に抜かないでください。

② INPUTS（入力端子 1-6）

バランス入力 4 系統、アンバランス RCA 入力 2 系統を合計 6 系統の入力端子を装備しています。

③ OUTPUT A/B（出力端子 A/B）

バランス 2 系統、RCA アンバランス 2 系統がメイン 1,2 出力に用意されています。

プリアンプ出力 A,B と表示されています。

④ RECORD OUTPUT（録音出力端子）

REC 出力端子です。バランス、アンバランスそれぞれ 1 系統装備いたしました。

⑤ REMOTE（リモートコントロール受光部接続端子）

2 メートルのケーブル（グレーの細いケーブル）によってリモートコントロールセンサーに接続します。赤外ハンドセットによってプリアンプをコントロールします。接続ケーブルには入力方向が指定されていますので、ご注意ください。プリアンプ側には（PREAMP END）と表記されています。

ご使用方法

フロントパネルの操作

① VFD（蛍光真空ディスプレィ）

32 × 320 ピクセルの VFD は高解像度でプリアンプの状況を表示します。

② Phase Indicator（位相表示）

L+ +Rは位相が両チャンネルともノーマルである(正相)ことを示します。他に、L- +R（左チャンネル逆相)、L+ -R(右チャンネル逆相)、L- -R(両チャンネル逆相)と選択できます。位相の変更はメニューで行います。

③ レコードセレクト

レコード出力(RECORD OUTPUT)にどの入力が対応しているかを示します。メニュー(MENU)機能によって入力ラベルが選択されていれば、その名称ラベルが表示されます。入力がラベル選択された無い場合は、表示葉されません。1～4の入力が選択されればバランス(BAL)が表示されます。

④ レコードラベル表示

入力と関連したレコード出力のラベルを表示します。入力が選択されていない場合にはラベルは表示されません。

⑤ バランス表示

位相表示の右側のバーは左右チャンネルともバランス設定されていることを表示します。小さな正方形から菱形にカーソルが変わり両チャンネルとも同一ゲインであることを示します。または、入力ゲインが選択された入力に加えられていない場合にはそれを示します。チャンネルバランス、ゲインオフセットが調整されればカーソルは菱形から正方形に変わります。カーソルの各インクリメント(ステップ)は1/2dBに相当します。(左右で比較すれば1dBの差となります)

⑥ Input Number（入力チャンネル）

現在選択している録音入力チャンネル（左）、メイン入力チャンネル（右）が表示されます。

＜例＞ REC 5 UNB　MAIN 1 BAL

⑦ Input Name（入力チャンネル名）

メニュー機能によって入力ラベルが選択されていれば、そのラベルが表示されます。
入力名称はメニューの中に用意されています。

⑧ Volume Indicator（ボリューム表示）/Mute Indicator（ミュート表示）

ディスプレィの右側に表示される大きな数字はメイン入力ボリウム表示となります。
ボリウムは 0.0 から 99.5 までの範囲内で、0.5dB の増減で調整され表示されます。最大ゲインは 99.5 です。

ディスプレィにはミュート状態を 3 通り表示します。
ミュートをしていない状態では、通常のボリュームの数字が表示されます。

72.5

１回ミュートボタンを押すと、下記の表示になります。その場合メイン入力ボリュームは 20dB 減衰されます。ボリューム表示も 20.0 下がります。

[52.5]

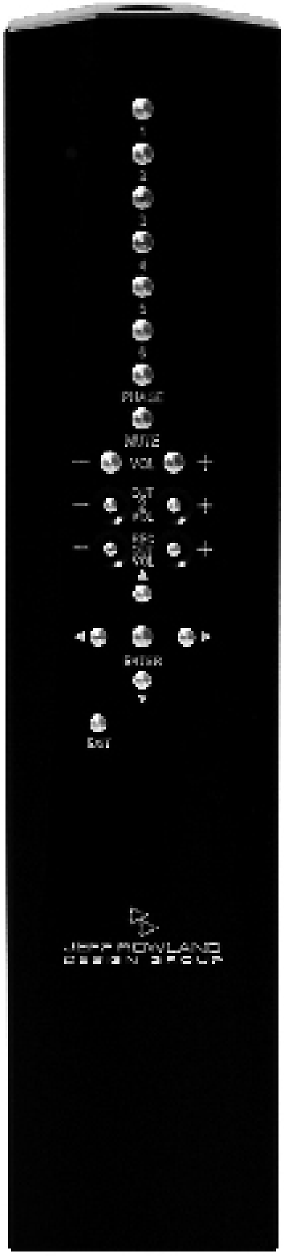
もう１回ミュートボタン押すとフルミュートになります。フルミュートにした場合は下記の表示になります。この場合のボリューム表示はミュートにする直前の通常の表示となります。

[72.5]

もう１度ミュートを押すとミュートは解除されます。

録音出力レベル (Record Level) が選択されている場合 (メニュー又はリモートから REC OUT VOL +/- ボタン) 録音入力ボリウムが表示されます。

リモートコントロールの操作



1～6（入力チャンネル）
　メイン入力チャンネルを選択します。録音選択モードの場合には録音入力チャンネルを選択します。

PHASE（位相）
　位相を L､R 両チャンネルとも正相（L+ +R）から逆相（L- -R）へ設定します。

MUTE（ミュート）
　-20dB ミュート、フルミュート（完全消音）、ミュート解除を繰り返します。（メインスクリーンの場合）

VOL +/-（メインボリューム調整）
　メインスクリーンの場合、メインボリュームの調整をします。RECORD OUT LEVEL（録音出力レベル）モードでは録音ボリュームを調整します。

OUT 2 VOL +/-（メイン出力 B アンバランス ゲイン調整）
　OUT 2 OFFSET メニューに入り、アンバランスメイン出力 B のレベルを調整します。
　ENTER、EXIT ボタンでこのモードが終了します。

REC OUT VOL +/-（録音出力ゲイン調整）
　REC OUT LEVEL メニューに入り、録音信号のレベルを調整します。
　ENTER、EXIT ボタンでこのモードが終了します。

↑（ナビゲーションボタン 上）
　メニューモードではメニュー表示をスクロールアップします。MEIN MENU == カーソルと相対に動きます。

↓（ナビゲーションボタン 下）
　メニューモードではメニュー表示をスクロールダウンします。MEIN MENU == カーソルと相対に動きます。

←（ナビゲーションボタン 左）
　MENU 内の BALANCE（バランス）モードにおいて、ステレオイメージを左側にシフトします。

→（ナビゲーションボタン 右）
　MENU 内の BALANCE（バランス）モードにおいて、ステレオイメージを右側にシフトします。

　※ このボタンを押すとディスプレイにバッテリーモードを示す「B」という文字が表示されます。
　これはプログラム上表示されますが、実際の電源モード切換を行うものではありません。
　この表示が点灯したときは反対側の「←ボタン」で消灯いたします。

ENTER（ナビゲーションボタン中央）
　フロントパネルのメニューボタンと同じ機能を行います。

EXIT
　メニューモードを終了させ、メインスクリーンに戻ります。

［リモートコントロールの電池交換について］

下部にあるマイナスネジ（1 個）をゆるめ､ふたを取り外してください。乾電池はアルカリの単三（２本）を使用してください。

◆ NOTE ◆

本機のリモートコントロールは赤外線方式のため、他の電化製品等でリモートコントロールをご使用時に、テレビの音量が連動して上がってしまうなど、まれに誤作動をすることがあります。その場合は該当機器を離すか、又は当社サービス課までご連絡ください。

メニュー機能

メニューモードへの切り替えには何種類かの方法があります。フロントパネルのMENUボタン、ボリュームコントロール、リモートの ENTERボタンで切り替わります。
全て同じ動作を行います。

ディスプレイのメインスクリーン（メニュー機能ではない状態）からメニューボタンのどれかを押すことでメニューモードに入ります。

メニューモードに入っている場合には、ノブ、またはリモートのアップダウンボタンによってメニュー選択をスクロールさせます。それによって、MAIN MENU==ポインターによってではなく、メニュー表示がスクロールされます。
例えば、ノブを右に回すとメニューリストがアップします。

希望するメニューにスクロールした後、メニューをもう一度押すことで、そのメニュー機能を選択し、そしてメニューを終了します。

メニューリスト

CANCEL MENU
BALANCE
STANDBY
RECORD SELECT
PHASE NORMAL
INVERT BOTH
INVERT LEFT
INVERT RIGHT
INPUT OFFSET
OUT 2 OFFSET
RECORD OUT LEVEL
NAME - AUX
NAME - BLURAY
NAME - BYPASS
NAME - CABLE
NAME - CD
NAME - CD 1
NAME - CD 2
NAME - DAC
NAME - DAC 1
NAME - DAC 2
NAME - DAT
NAME - DAW
NAME - DVD
NAME - DVDREC
NAME - DVR
NAME - DVR 1
NAME - DVR 2
NAME - iPOD(tm)
NAME - LD
NAME - MP3
NAME - NET
NAME - PHONO
NAME - PHONO 1
NAME - PHONO 2
NAME - SAT
NAME - SERVER
NAME - TAPE
NAME - TAPE 1
NAME - TAPE 2
NAME - TUNER
NAME - TUNER 1
NAME - TUNER 2
NAME - VCR
NAME - (NC)
NAME - (OPEN)
NAME - -----
NAME -
REMOTE DEFAULT
REMOTE ALT 1
REMOTE ALT 2
REMOTE ALT 3
DISPLAY HIGH
DISPLAY MIDIUM
DISPLAY LOW
DISPLAY ON
DISPLAY OFF 5S
DISPLAY OFF 15S
FACTRY DEFAULTS
Rev x.x.xxxxx

メニュー項目の説明

CANCEL MENU（メニューキャンセル）

メニューボタンを押すとメニューモードはキャンセルとなり、ディスプレイはメインスクリーンに戻ります。

BALANCE（バランス調整）

左右ゲインを 0.5dB ステップで調整します。左にシフトすることで左チャンネルゲインは増加､右チャンネルゲインは減少します。逆は左チャンネル減少、右チャンネル増加となります。

バランス表示バーはバランスシフトの相対量を表示します。ボリュームノブ、またはリモートの←→ボタンによって調整します。

バランス調整は全ての入力チャンネルに対して影響します。（個別の入力チャンネルに対しては設定できません）

STANDBY（スタンドバイ）

スタンドバイモードに入ります。メイン入力ボリューム (リモートの VOL+/- ボタン、フロントパスタンドバイと通常の動作を切り替えます。スタンドバイは消費電力を減らし、ディスプレイを消します。演奏時にこのボタンを押すと、出力はミュートされます。ボリューム (フロントパネルのノブを回す、またはリモートコントロールの Vol +/- ボタンを押す) を調整することでもスタンドバイから解除されます。

RECORD SELECT（録音チャンネル選択）

録音チャンネル選択（SELECT REC#）モードに入ってから、録音チャンネル番号（フロントパネルの 1 ～ 6）を選択します。フロントパネルの録音 (RECORD) ボタンを押すことによってもメニューモードの録音チャンネル選択と同様の作動をします。メイン入力が選択されるまではこのモードを保持します。

例 : 録音チャンネル 3 番を選択する場合

・Menu ボタンを押してメニューに入る

・メニューディスプレイを RECORD SELECT までスクロールする

・Menu ボタンを押す（ディスプレイ左上に SELECT REC # が表示され、RECORD SELECT が有効な状態）

・入力チャンネルボタン 3 を押す（ディスプレイの左上に REC 3 BAL が表示される）

・メイン入力チャンネルを選択するため数字ボタンを押し、録音選択モードが終了する

PHASE NORMAL（位相正相）

位相を左右両チャンネルとも正相に設定します。ディスプレイの左下部に L+ +R と表示されます。

INVERT BOTH（位相逆相）

位相を左右両チャンネルとも逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L- -R と表示されます。

INVERT LEFT（位相左逆送）

位相を左チャンネルのみ逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L- +R と表示されます。

INVERT RIGHT（位相右逆送）

位相を右チャンネルのみ逆相に設定します。ディスプレイの左下部に L+ -R と表示されます。

INPUT OFFSET（入力ゲイン調整）

選択されている入力チャンネルを +/-20dB（一目盛り 0.5dB）まで調整することができます。入力ソース機器の出力ゲインが極端に高い、または低い場合に有効です。各チャンネル毎に設定できます。
INPUT OFFSET を選択すると、バランス表示バーはその時にオフセットする量を表示します。フロントパネルノブによってゲインを調整します。

OUT 2 OFFSET（出力 2 ゲイン調整）
メイン出力 B のアンバランスのゲインを +/-20dB（一目盛り 0.5dB）まで調整することができます。
メイン出力 A のアンバランスおよびメイン出力 A/B のバランスは変化ありません。
OUT 2 OFFSET を選択すると、バランス表示バーは一時的にオフセットする量を表示します。
フロントパネルノブによってゲインを調整します。

RECORD OUT LEVEL（録音出力レベル）
録音信号回路のレベル（ボリューム）を調整することができます。
RECORD OUT LEVEL を選択すると、メインボリューム表示は録音信号回路のゲインを一時的に表示します。
フロントパネルノブによってゲインを調整します。

NAME - ○○（入力名）
入力チャンネルの名称を選択するために多くのラベル用の名称が登録されています。
名称は直近に選択されたメイン入力番号に対して指定されます。

入力名を BYPASS に設定しますと、全体の入力ゲインを 0dB に固定し、ボリューム表示を ″—.-″ にします。

REMOTE DEFAULT（リモート初期設定）
　出荷時の赤外線リモートコントロールコードを選択します。

REMOTE ALT 1（リモートコントロール 1）
REMOTE ALT 2（リモートコントロール 2）
REMOTE ALT 3（リモートコントロール 3）
　他のリモート（テレビ等）と同期するときに使用します。
　詳しくは販売店または当社までご連絡下さい。

工場設定(FACTORY DEFAULTS)
　全ての設定、調整を工場出荷時に戻します。

DISPLAY HIGH（ディスプレイ輝度 高）
　メインディスプレイの輝度を最高度にします。

DISPLAY MIDIUM（ディスプレイ輝度 中）
　メインディスプレイの輝度を中程度にします。

DISPLAY LOW（ディスプレイ輝度 低）
　メインディスプレイの輝度を最低にします。

DISPLAY ON（ディスプレイ表示）
　メインディスプレイを常に点灯させます。

DISPLAY OFF 5S（ディスプレイ 非表示 5 秒）
　メインディスプレイを操作終了 5 秒後に非表示（消灯）にします。フロントパネルおよびリモコンを動作しますと表示（点灯）されます。

DISPLAY OFF 15S（ディスプレイ 非表示 15 秒）
　メインディスプレイを操作終了 15 秒後に非表示（消灯）にします。フロントパネルおよびリモコンを動作しますと表示（点灯）されます。

Rev X.X.XXXXX
　マイクロプロセッサーのファームウェアバージョンを表示しています。

故障かな？と思ったら

故障とお考えになる前に、下記の点を確認してみてください。

電源が入らない

・パワーサプライのＡＣ電源ケーブルは、正しく接続されていますか？
・コンセントにAC100Vが通じていますか？

音が出ない

・オーディオケーブルは、正しく接続されていますか？
・アンプのボリュームレベルは、上がっていますか？
・アンプのラインセレクターは、合っていますか？
・ミュートボタンが押されていませんか？

リモートコントロールが働かない

・電池電圧が低下していませんか？

以上、上記の項目をご確認の上なお製品に異常が見られる場合は、お買い求めの販売店又は当社サービス課までご相談ください。

アフターサービスについて

・同封の保証登録書に必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより１年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

仕様

ゲイン	各チャンネル毎に 0 ～ 20dB で設定可能
ゲインレンジ	99.5dB, 199 ステップ
周波数特性	10Hz ～ 300kHz, -3dB @ 8Ω
最大入力レベル	13.5V (RMS) @ 0dB ゲイン
最大出力レベル	13.5V (RMS)
THD + N ノイズレベル	0.003% 以下 (2V 出力時 , 50-20kHz)
S/N 比	100dB 以上
CMRR 90dB 以上 20~20k Hz	
チャンネルセパレーション	99.5dB
入力端子	
バランス	4 チャンネル (XLR)
アンバランス	2 チャンネル (RCA)
メイン出力端子	
バランス	2 チャンネル (XLR)
アンバランス	2 チャンネル (RCA)
録音出力端子	
バランス	1 チャンネル (XLR)
アンバランス	1 チャンネル (RCA)
入力インピーダンス	40kΩ (バランス / アンバランス)
出力インピーダンス	60Ω (バランス / アンバランス)
消費電力	最小 15W
パワーサプライ	PFC PS
ディスプレィ	320×32 ドットバキューム蛍光ディスプレィ
外寸 (mm)	395mm(W) × 99mm(H) × 311mm(D) (本体)
	119mm(W) × 99mm(H) × 279mm(D) (本体パワーサプライ部)
重量	10kg (本体)
	2.7kg (本体パワーサプライ部)

※ 本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027

東京都中央区日本橋 2-12-9

日本橋グレイス 1F

TEL ： 03-6225-2777（代表）

03-6225-2779（サービス課）

FAX ： 03-6225-2778

ホームページ： http://www.taiyo-international.com

2010-11-1